

株式会社タチエス TVE Wave2 2027による知財・無形資産戦略の変革分析

株式会社タチエスが2025年5月30日に策定した「中期経営計画 TVE (Transformative Value Evolution) Wave2 2027 (2025~2027年度)」は、同社の知的財産および無形資産戦略に根本的な変革をもたらすことが予想される^{[1] [2]}。本報告書では、現在の知財・無形資産戦略を詳細に分析し、新中期経営計画の影響を評価したうえで、複数のシナリオによる将来予測を行う^{[3] [4]}。

現在の知財・無形資産戦略の概要

特許・知的財産権戦略

タチエスの現在の知的財産戦略は、「選ばれ続ける企業」となることを目指し、自動車シート分野を中心とした包括的なアプローチを採用している^[5]。同社は取得してきた知的財産を活用して事業を守るとともに、持続的成長に必要な研究・開発成果として知的財産権を取得する活動を展開している^[5]。

2025年の特許出願動向を見ると、出願公開件数は12件、特許取得件数は7件となっており、主要技術分野は車両用シート、ヘッドレスト、乗り物用シートに集中している^{[6] [7]}。これらの数値は、従来の自動車シート関連技術への特化を物語っている^[6]。

グローバル知財管理体制

同社のグローバル知財戦略は、事業の自由度および優位性確保を目的として、自社製品の技術に対してグローバルな知的財産権の取得を目指している^[5]。第三者の知的財産権侵害防止のため、製品開発段階において特許調査を実施し、事業上のリスクを最小化する体制を構築している^[5]。

組織的取り組み

知的財産の創出と管理において、タチエスは産業財産権管理規程を設け、発明等の出願・登録に応じた発明者に報奨金を支払う制度を確立している^[5]。また、関係部署を対象とした社員教育を実施し、第三者の知的財産権侵害防止と自社製品に関わる技術の知的財産権取得を促進している^[5]。

TVE Wave2 2027の戦略的特徴

3つのシンカによる事業変革

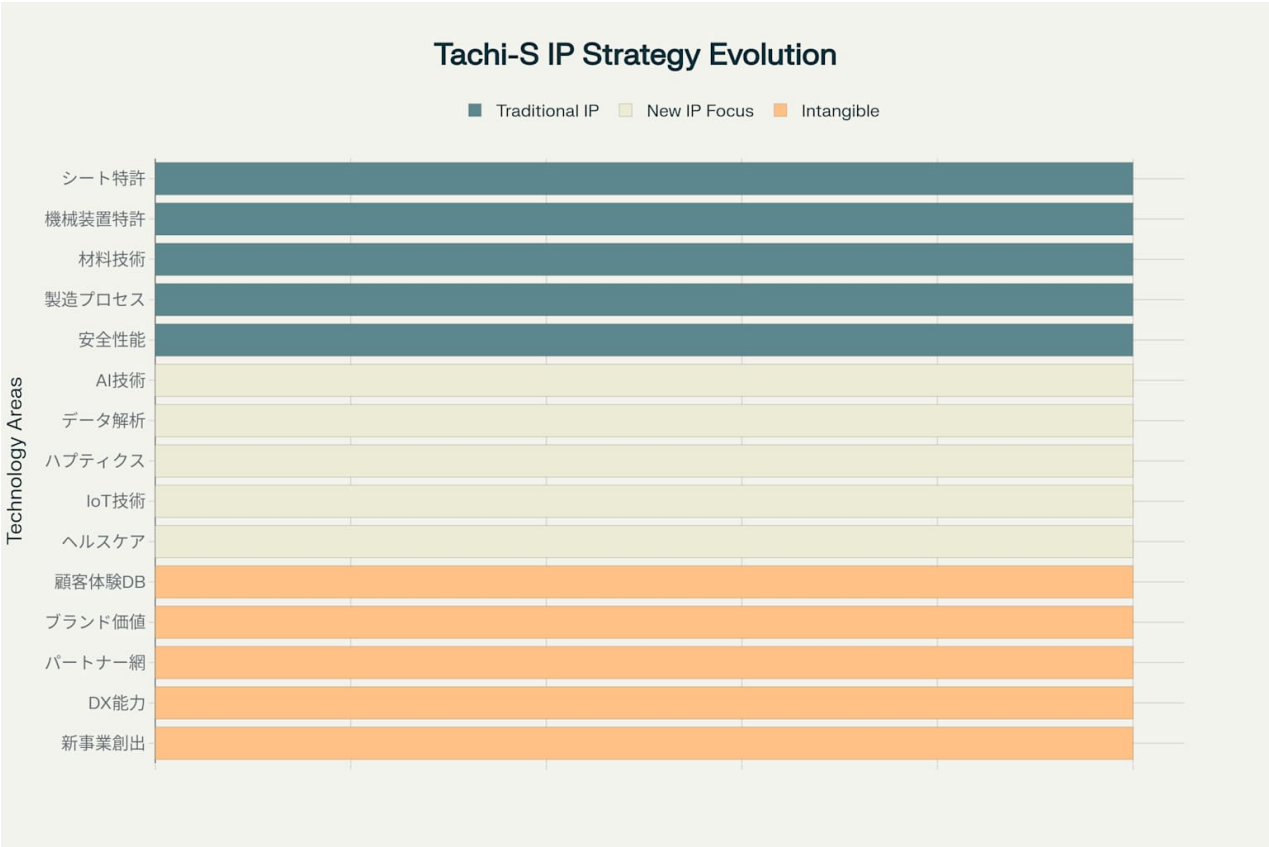
TVE Wave2 2027の核心は、「深化」「進化」「新化」という3つのシンカによるビジネス領域の拡大にある^{[1] [2]}。この戦略は、既存のシートビジネス領域での深化による業務変革、そこで得られた成果を用いた進化と新化による新たな価値創出とイノベーション創出を目指している^{[2] [3]}。

デジタル変革の加速

新中期経営計画では、DXの促進が重点活動方策の土台として位置づけられている^{[11] [3]}。これには、デジタル技術活用によるモノづくり競争力の強化、データドリブンな生産および経営の実現が含まれている^[4]。

新規事業領域への展開

TVE Wave2では、シートビジネスに次ぐ第二の柱となる新規ビジネスの創出を目指している^[4]。具体的には、医療・介護、移動マイルーム、Smart Factoryに関連する領域への進出が計画されている^{[4] [8] [9]}。



タチエス TVE Wave2 2027における知財・無形資産戦略の進化

知財・無形資産戦略への影響分析

特許戦略の拡張

TVE Wave2 2027により、タチエスの特許戦略は従来の自動車シート関連特許中心から、AI・センシング・ヘルスケア特許への大幅な拡大が予想される

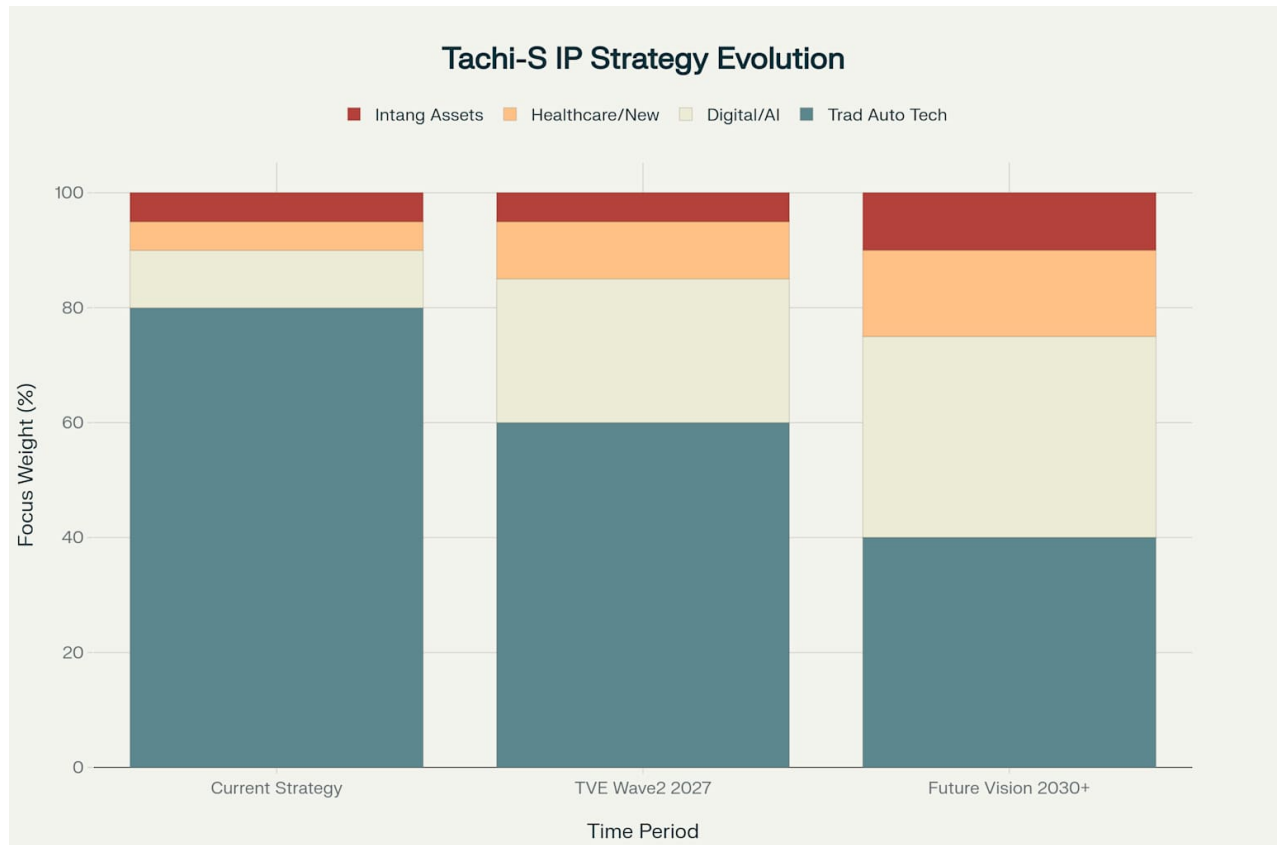
。これには、スマートシェルやハプティクスシートなどの五感体験技術、センシング技術、データ解析技術が含まれる^{[10] [8] [11]}。

ブランド戦略の転換

同社のブランド戦略は、シート専門メーカーとしての地位から「空間プロデューサー」ブランドへの根本的な転換が図られる。これは、シートを中心とした車室空間での体験価値創出という新しい価値提案に基づいている^{[10] [8]}。

データ資産の戦略的活用

従来の生産・品質データの蓄積から、顧客体験・行動データの戦略的活用へと発展する。これには、人工知能型ビジネスアプリケーション「HUE」の活用による年間10,000時間の業務効率化と、データドリブンな意思決定プロセスの構築が含まれる^[12]。

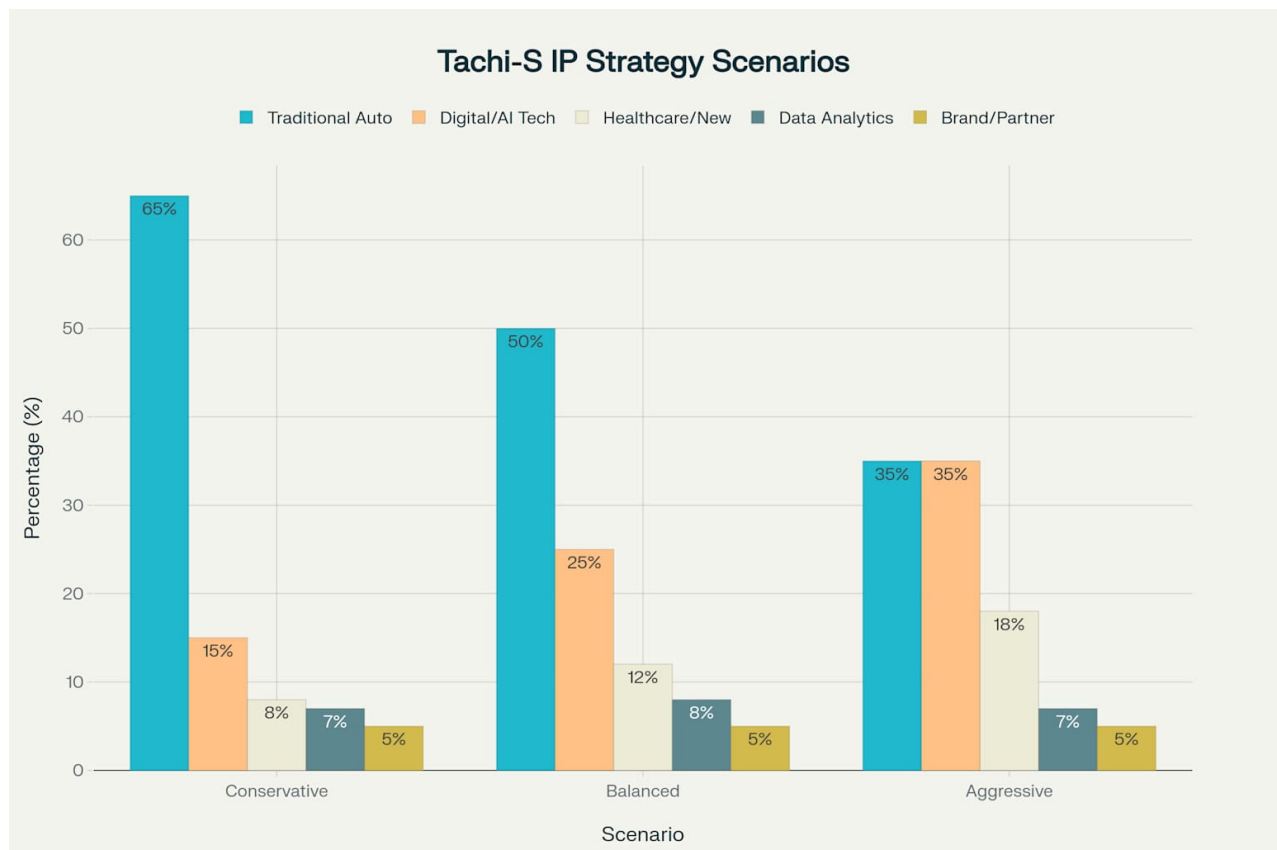


タチエス 知財・無形資産戦略の時系列変化（TVE Wave2 2027の影響）

組織能力の変革

モノづくり技術に特化した従来の組織能力から、デジタル技術・新規事業創出能力への変革が進む。これには、アドバンテッジアドバイザーズとの事業提携による新規事業創出ノウハウの獲得と、M&A戦略の積極的展開が含まれる^{[4] [13]}。

知財・無形資産戦略の将来シナリオ



タチエス TVE Wave2 2027 知財戦略の3つのシナリオ比較

保守的シナリオ：段階的拡大モデル

保守的シナリオでは、従来技術への投資を65%維持しながら、デジタル・AI技術に15%、ヘルスケア・新事業に8%を配分する

。このアプローチは、既存事業の安定性を重視し、段階的な技術拡張を図る戦略である。

リスク評価は低く、期待収益は中程度となるが、市場変化への対応速度に課題が残る可能性がある。特許戦略においては、センシング技術特許50件の取得を2025年の目標とし、既存技術の延長線上での知財拡充を図る

。

バランス型シナリオ：統合的成長モデル

バランス型シナリオは、従来技術への投資を50%に調整し、デジタル・AI技術に25%、ヘルスケア・新事業に12%を配分する戦略である。このモデルは、伝統と革新のバランスを重視し、リスクを管理しながら高い期待収益を追求する。

2026年にはAI/IoT技術特許出願を加速し、データ解析関連特許100件の取得を目指す。無形資産構築においては、パートナーネットワークの拡大により、IT企業・医療機関との新たな提携関係を構築する。

積極的シナリオ：変革主導モデル

積極的シナリオでは、従来技術への投資を35%まで削減し、デジタル・AI技術に35%、ヘルスケア・新事業に18%を配分する急進的な戦略を採用する。このアプローチは最高の期待収益を目指す、高いリスクを伴う。

2027年には、ヘルスケア分野への本格進出と新ブランドの確立を図り、ヘルスケア関連特許30件の取得を目標とする。競争優位性においては、五感体験・データドリブン競争力の構築により、従来のグローバル生産体制を超えた新たな競争力を獲得する。

実行戦略とタイムライン

短期戦略（2025年）

2025年はDX基盤構築・データ蓄積開始の年と位置づけられ、センシング技術特許50件の取得と顧客データベースの構築が重点目標となる。これには、既存のTeamcenterによるグローバルデータ管理システムの拡張と、新たなデータ収集・分析基盤の構築が含まれる^[14]。

中期戦略（2026-2027年）

2026年にはAI/IoT技術特許出願の加速により、データ解析関連特許100件の取得を目指す。同時に、パートナーネットワークの拡大により、従来の自動車メーカーとの関係を越えた新たな協業関係を構築する。

2027年には、ヘルスケア分野進出・新ブランド確立により、空間プロデューサーとしての市場認知を確立する。この段階で、ヘルスケア関連特許30件の取得と新ブランド価値の創出を実現する。

長期ビジョン（2030年）

2030年には、空間プロデューサーとしての地位確立により、新分野特許ポートフォリオの完成と統合的無形資産価値の最大化を実現する。これにより、売上高4,000億円規模への拡大という財務目標の達成を支える知財・無形資産基盤が構築される^[15]。

結論と戦略的提言

戦略的転換の必要性

TVE Wave2 2027は、タチエスにとって知財・無形資産戦略の根本的な転換点となる^{[1] [2]}。従来の自動車シート特化型から、デジタル技術・ヘルスケア・体験価値創出を統合した複合型戦略への移行は、自動車業界の100年に一度の大変革期における生存戦略として不可欠である^{[1] [16]}。

重点投資領域

最も重要な投資領域は、AI・センシング技術とデータ解析能力の構築である。これらの技術は、既存のシート事業の高度化と新規事業創出の両方を支える基盤技術となるため、戦略的重要度が最高に位置づけられる。

リスク管理と収益最大化

バランス型シナリオが最適解として推奨される。このアプローチは、既存事業の安定性を維持しながら新技術への投資を段階的に拡大し、中程度のリスクで高い期待収益を実現できる。

長期競争優位性の構築

2030年に向けた長期ビジョンの実現には、特許戦略、ブランド戦略、データ資産、組織能力の同時的な変革が必要である。特に、五感体験・データドリブン競争力の構築により、従来の製造業的競争優位性を超えた新たな価値創造基盤の確立が求められる。

タチエスのTVE Wave2 2027による知財・無形資産戦略の変革は、単なる技術拡張ではなく、企業アイデンティティそのものの進化を意味している^[1]^[3]。この変革の成否は、同社の長期的な競争優位性と持続可能性を決定する重要な要因となるであろう^[3]^[4]。

✻

1. <https://www.tachi-s.co.jp/ir/strategy/message.html>
2. <https://www.tachi-s.co.jp/ir/strategy/plan.html>
3. <https://www.tachi-s.co.jp/strength/>
4. https://www.tachi-s.co.jp/Portals/0/images/ir/ir_News/2024/20250227-2_tachi-s.pdf
5. <https://www.tachi-s.co.jp/technology/attempt.html>
6. <https://ipforce.jp/applicant-1871>
7. <https://ipforce.jp/applicant-1871/publication>
8. https://www.tachi-s.co.jp/Portals/0/images/News/2024/20250117_tachi-s.pdf
9. <https://tachi-s-hp.co.jp/greeting.html>
10. <https://www.tachi-s.co.jp/news/?itemid=364&dispmid=1068>
11. <https://news.yahoo.co.jp/articles/1499a3565ec6e7ba6d5bc18f3bbf26c85dbe37b7>
12. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000095.000011485.html>
13. https://www.tachi-s.co.jp/Portals/0/images/ir/ir_News/2024/20250227-3_tachi-s.pdf
14. <https://www.dipro.co.jp/product/teamcenter/info/detail?id=23>
15. <https://www.irwebcasting.com/20250530/1/44fecfd2cb/mov/main/index.html>
16. <https://blog.jama.or.jp/?p=1357>